

京都大学アカデミックデイ

2012/03/10

サイエンスカフェ出展報告

先端研究助成基金助成金(最先端研究開発支援プログラム / 平岡真寛)

先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム / 原田浩)

京都大学

アカデミックデイ

— みんなで対話する京都大学の日 —

Kyoto University
Academic Day

京都大学では、誰もが学問の楽しさ・魅力に気付くことができる
コミュニケーションの場を作ります。

「研究するって、どんなこと？」

高校生も、大学生も、お父さんも、お母さんも、研究者も、先生も、
直接語り合えるアカデミックな「日」です。

2012/03/10 (土)

京都大学百周年時計台記念館にて、京都大学アカデミックデイが開催され、京大研究者との対話を通して、一般来場者の方々に科学技術等に対する興味をもって頂く活動を実施しました。

その中で、平岡研究室、原田研究室合同で、一般来場者向けに研究の成果を分かりやすく説明するサイエンスカフェを開きました。題して『分子画像×動体追尾=究極の放射線治療』

2012年3月10日(土)

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/>

会場：京都大学百周年時計台記念館 無料・申込不要
高校生でも大学生でも家族でもお一人でも参加歓迎
お問い合わせ：京都大学国際部「国民との科学・技術対話」担当
TEL：075-753-2036 E-mail：kenkyu-taiwa@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



13:00-14:30

松本紘の部屋

対談式講演会
京都大学総長 松本紘がゲストの巻頭にせまり、多様な話を引き出します。那覇を無しの対話場に注目ください！
松本紘 (京都大学総長) × 美濃のゆり氏 (日本女子大学名誉教授) × 平野啓一郎氏 (作家)



10:00-16:00

お茶を片手に座談会

トークライブ
それぞれのテーマに沿って、みんなを語り合います。
アイカイブ広場「京都大学研究資源アイカイブのこれから」
10時-11時
※多岐にわたる視点から、お話を伺います。立派な講演者も来て、
研究資料やアイカイブの活用も楽しみます。
「来年の京都大学アカデミックデイをよりよくなるために」
11時30分-12時30分
「震災から1年 知の地盤たる「大学」がすべきこと」
14時45分-16時
全場参加型で、お茶を片手に、お話を伺います。お茶を片手に、お話を伺います。お茶を片手に、お話を伺います。



10:00-16:00

ポスター前で立ち話

ポスター展示
高校生、市民研究者、大学研究者などによる研究紹介です。
ポスターの前にいる研究者に話しかけてみてください。
気の向くまま、あちこちのぞくもよし。一人じっくり語るもよし。
出展予定
「石から探るむかしの世界」
「ナノ物質が拓く光科学のフロンティア」
「アフリカの潜在力、紛争解決と共生」
「低炭素社会実現のための次世代蓄電池」ほか30件



10:00-12:30

畳にコタツで膝詰め対話

サイエンスカフェ
ひとつのテーマを囲んで研究にまつわるあんな話、こんな話。
お茶の時間分、ほっとお話ししましょう。
出展予定 「生物の形づくりを数学で理解する」
「分子画像×造影技術」究極の放射線治療」
「コンピュータで化学反応の世界を探る」
「分子からみた視覚の進化」
「レアメタル不要！超硬なクロスカンブリッジ」ほか5件



サイエンスカフェのブース全景



畳の上にこたつを設置し、膝を突き合わせて一般来場者に説明するスタイル。コンテンツは以下を準備しました。

- ① 「分子画像×追尾治療＝究極の治療」のパワーポイント
- ② 動態追尾放射線治療法で世界で初めて治療をした際の記録画像
- ③ TM2000(Vero) 1/10 模型

説明風景



1時間という短い時間でしたが、高校生～年配者まで10数名の方々に来場して頂きました。特に学生さん（高校生）は熱心で、サイエンスカフェの開始から終了まで熱心に質問して頂きました。このイベントの重要性を認識致しました。

まとめ



当日の対応メンバーです。左から原田、椋本、植木、金子。短いながらも充実した時間でした。